



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)FAV HOTEL S6W7 計画	階数	13
建設地	北海道札幌市中央区南6条西7丁目2-2.2-10.3-1.3-2.3-6.4-1.4-2.4-8.5-1	構造	RC造
建物用途	ホテル	平均居住人員	150 人
竣工年	2025年3月 竣工	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
敷地面積	1,033 m ²	評価の段階	竣工段階評価
建築面積	381 m ²	評価の実施日	2025年3月1日
延床面積	4,285 m ²	作成者	
		確認日	
		確認者	

※ここに外観パースを貼り付けてください。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆ B-

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 一次エネルギー消費量の評価

建物全体の[BEI][BEIm] **0.88**

ZEB/ZEH-Mランク **非該当**

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項	
<p>総合 効率的な設備システムを導入し、地球温暖化防止へ配慮している。</p>	<p>A 省エネルギー ・断熱性能と遮音性の高い窓を採用している</p>
<p>B 省資源等 ・外壁、内装材、配管等に耐用年数の長い部材を使用している</p>	<p>C 緑化 外構緑化を行う</p>
	<p>D 蓄処理 ロードヒーティング設備を設けている</p>

4 ほかの認証・評価制度の利用			
(一財)住宅・建築 SDGs 推進センターのCASBEE認証	-	BELS認証	-
上記以外の認証・評価制度の利用	-	LEED認証	-

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 環境品質Q = 25 × (Qのスコア - 1)、環境負荷L = 25 × (5 - LRのスコア)より算出

スコアシート		竣工段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 室内騒音レベル				—	3.0	0.40	3.0	0.40
1.2 遮音					1.0	0.40	3.9	0.40
1	開口部遮音性能		窓遮音性能 T-2	1.0	1.00	5.0	0.30	
2	界壁遮音性能		界壁遮音性能 TLD-50、D-50	3.0	-	4.0	0.30	
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)		—	—	-	3.0	0.20	
4	界床遮音性能(重量衝撃源)		—	—	-	3.0	0.20	
1.3 吸音				—	1.0	0.20	3.0	0.20
2 温熱環境								
2.1 室温制御					3.0	0.50	3.0	0.50
1	室温		—	3.0	0.38	3.0	0.57	
2	外皮性能	省エネ	—	3.0	0.25	3.0	0.43	
3	ゾーン別制御性		—	3.0	0.38	—	-	
2.2 湿度制御				—	1.0	0.20	1.0	0.20
2.3 空調方式				—	3.0	0.30	3.0	0.30
3 光・視環境								
3.1 屋光利用					4.2	0.30	4.2	0.30
1	屋光率		ラウンジ 15.4%、客室H 6.0%	5.0	0.60	5.0	0.60	
2	方位別開口		—	—	-	—	-	
3	屋光利用設備	省エネ	—	3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策					3.0	0.30	3.0	0.30
1	屋光制御	省エネ	—	3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度				—	3.0	0.15	3.0	0.15
3.4 照明制御				—	3.0	0.25	3.0	0.25
4 空気質環境								
4.1 発生源対策					3.0	0.50	3.0	0.63
1	化学汚染物質		—	3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気					2.5	0.30	3.0	0.38
1	換気量		30m ³ /h人以上の換気量	4.0	0.50	4.0	0.33	
2	自然換気性能		建築基準法を満たしており、かつ建築基準法規制対象外となる建築材料(告示対象外の建材 および JIS・JAS 規格のF☆☆☆☆)をほぼ全面的(床・壁・天井・天井裏の面積の合計の70%以上の面積)に採用している。	—	-	4.0	0.33	
3	取り入れ外気への配慮		—	1.0	0.50	1.0	0.33	

4.3 運用管理				1.0	0.20		-	
1	CO ₂ の監視		-		-		-	
2	喫煙の制御			1.0	1.00		-	
Q2 サービス性能					0.30	-	-	3.1
1 機能性				3.1	0.40	3.4	1.00	3.3
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60	
1	広さ・収納性		-		-	3.0	0.50	
2	高度情報通信設備対応		-		-	3.0	0.50	
3	バリアフリー計画			3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	4.0	0.40	
1	広さ感・景観		客室天井高2.7m		-	5.0	0.50	
2	リフレッシュスペース		-		-		-	
3	内装計画		-	3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理				3.5	0.30		-	
1	維持管理に配慮した設計			3.0	0.50		-	
2	維持管理用機能の確保		評価項目が7項目ある。	4.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30		-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)		-	3.0	0.80		-	
2	免震・制震・制振性能		-	3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.6	0.30		-	
1	躯体材料の耐用年数		-	3.0	0.20		-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	弾性リシン吹付	4.0	0.20		-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	磁器質タイル、タイルカーペット、ビニールクロス	5.0	0.10		-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	-	3.0	0.10		-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	給水:ステンレス管、汚水雑排:耐火二層管(塩ビ管)	4.0	0.20		-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	-	3.0	0.20		-	
2.4 信頼性				2.2	0.20		-	
1	空調・換気設備		-	3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		-	3.0	0.20		-	
3	電気設備		-	3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		-	1.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		-	1.0	0.20		-	
3 対応性・更新性				2.6	0.30	2.9	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり					-	2.8	0.50	
1	階高のゆとり		-	3.0	-	2.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		客室壁長さ比率>0.1	4.0	-	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	3.0	-	3.0	0.50	

3.3 設備の更新性				2.6	1.00		-	
1	空調配管の更新性		-	3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		-	1.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		-	3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		-	3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		-	3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		-	3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30		-	2.2
1	生物環境の保全と創出	緑化	-	1.0	0.30		-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	緑化	-	3.0	0.40		-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	雪処理	-	3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化	-	2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性								2.9
LR1 エネルギー				-	0.40		-	3.0
1	建物外皮の熱負荷抑制	省エネ	BPI= 0.88 品確法=	-	4.2	0.20	-	4.2
2	自然エネルギー利用	省エネ	-	3.0	0.10		-	3.0
3	設備システムの高効率化	省エネ	BEI= 0.88	-	2.6	0.50	-	2.6
4	効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング	省エネ	-	3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制	省エネ	-	3.0	0.50		-	
集合住宅の評価								
4.1	モニタリング	省エネ	-				-	
4.2	運用管理体制	省エネ	-				-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30		-	2.9
1	水資源保護			3.0	0.20		-	3.0
1.1	節水			3.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		-	3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減			2.7	0.60		-	2.7
2.1	材料使用量の削減	省資源	-	3.0	0.11		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	省資源	-	3.0	0.22		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源	-	3.0	0.22		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	-	1.0	0.22		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	省資源	-	-	-		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	省資源	評価する取組み 1ポイント	4.0	0.22		-	

3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20		-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない建材種別が3種ある。(メーカー確認済)	4.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70		-	
1	消火剤	省資源	-	-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	省資源	-	3.0	0.50		-	
3	冷媒	省資源	-	3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30		-	2.7
1 地球温暖化への配慮		省資源	-	3.4	0.33		-	3.4
2 地域環境への配慮				2.5	0.33		-	2.5
2.1 大気汚染防止		省資源	-	3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		省資源 緑化 雪処理	-	2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	省資源	-	3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		-	3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		自転車利用と駐車場確保に関する取組を行っている。	4.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理	-	2.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮				2.4	0.33		-	2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
1	騒音		-	3.0	1.00		-	
2	振動		-	-	-		-	
3	悪臭		-	-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				1.6	0.40		-	
1	風害の抑制		-	1.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制		-		-		-	
3	日照阻害の抑制		-	3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		-	3.0	0.70		-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		-	3.0	0.30		-	



■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2021v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2021(ver.1.0)

1 建物概要

建物名称	(仮称)FAV HOTEL S6W7 計画	BEE	0.9	BEEランク	B-
建物用途	ホテル				
延床面積	4,285.4 m ²				

2 重点項目への取り組み

レーダーチャート



3. 重点項目のCASBEEスコア

A 省エネルギー (最高点 31.4 最低点 8.8)		合計		19.3点 / 31.4点	
Q1 温熱環境	スコア 2.5 / 3.9	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 3.4 / 4.0		
Q1 光・視環境	スコア 4.6 / 7.5	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.2 / 2.0		
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 5.2 / 10.0		
		LR1 効率的運用	スコア 2.4 / 4.0		
B 省資源等 (最高点 23.7 最低点 7.7)		合計		13.5点 / 23.7点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア 0.8 / 1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 5.0 / 9.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.9 / 2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.3 / 1.9		
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 3.4 / 5.0		
		LR3 地域環境への配慮	スコア 2.1 / 4.4		
C 緑化 (最高点 15.3 最低点 3.1)		合計		6.4点 / 15.3点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 0.9 / 4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0 / 2.5		
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 3.6 / 6.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.9 / 2.3				
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)		合計		2.0点 / 3.0点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0 / 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0 / 2.0		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■重点項目の最高点は、各評価項目でレベル5で評価された場合の点数

■重点項目の最低点は、各評価項目でレベル1で評価された場合の点数